第7講　武家政権の確立
PART4 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退

Chapter 1　蒙古襲来

目標
蒙古襲来に日本が勝利した要因について学ぼう。
蒙古襲来の後，御家人が窮乏・没落したのはなぜだろう？

1　モンゴル帝国と元

①〔1　　　　　　　　　〕

13世紀初め，**チンギス＝ハン**が諸部族を統合し大モンゴル国を形成。

※1234年，２代皇帝オゴタイ＝ハンが
中国北部の**金**を滅ぼしカラコルムに首都を設置。
のち一族のバトゥやフラグが東欧や西アジアに遠征し，
ユーラシア大陸にまたがる大帝国へ成長。

フビライ＝ハン

②〔2　　　〕

1271年，５代皇帝**フビライ＝ハン**が中国に新たな王朝（首都＝**大都**）を建国。

朝鮮半島の高麗を通じ日本に朝貢を要求するが，**8代執権**〔3　　　　　　　〕は拒否。

※服属後の高麗では**三別抄の乱**が起こり，元の日本征討を遅らせていた。

2　蒙古襲来〔元寇〕

①〔4　　　　　　　〕**（1274年）**

元・高麗連合軍約３万が，対馬・壱岐を攻め博多湾に上陸。

集団戦法や火薬〔てつはう〕により九州に所領を持つ御家人たちを苦戦させるが，

内部対立の多い元軍は撤退した。

②国防の強化

A　九州北部に設置していた〔5　　　　　　　　　〕を強化（1275年）

B　中国地方に長門警固番役を新設（1275年）

C　博多湾沿いに**石築地〔石塁・防塁〕**を構築

D　朝廷の許可を得て**御家人だけでなく非御家人も動員**

E　九州から北陸にかけて守護を入れ替え北条氏一門を配置

③［6　　　　　　］(1281 年)

1279 年に南宋を滅ぼし勢いづく

元・高麗・南宋連合軍約 14 万

（東路軍４万・江南軍 10 万）が再度襲来するが，

上陸を阻まれている間に暴風雨により

大損害を受け，再び撤退した。

④警戒態勢の維持

非御家人も動員し，公家・寺社支配下の

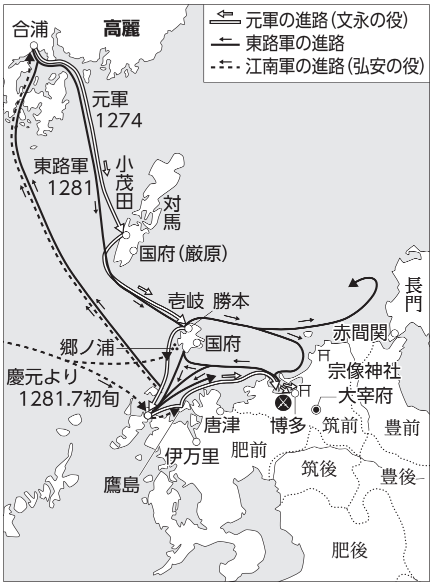
荘園・公領からも物資を徴発。

1293 年には博多に［7　　　　　　］を

設置し，北条氏一門が就任した。

※鎮西奉行に追加して置かれ，

　九州の政務・裁判，御家人の指揮にあたった。



モンゴル襲来関係図

3　蒙古襲来の影響

①鎌倉幕府の支配力が強大化

西国（特に九州）の非御家人へも影響力を及ぼす。

②北条氏の強大化

本家の当主である［8　　　　］の地位が強化される。

③“神風”による**神国思想**の広まり

実際は，敵の内輪揉めや，幕府の統制の下に御家人・非御家人たちが活躍したことが大きな撃退要因だったが，11 世紀半ばから続く末法思想から解放された。

④警戒態勢の維持

元はその後も日本征討を計画し続けたので，幕府の異国警固番役，石築地の築造・修理，非御家人の動員は継続された。しかし，高麗や旧南宋勢力，ベトナム（大越国〔陳朝〕やジャワなどでも元への抵抗の動きが起こり，３度目の日本征討はなかった。

⑤御家人の窮乏と没落

［9　　　　］**の不十分・警戒態勢の維持**により，御家人制が動揺し惣領制の解体も進行。

まとめ　侵攻軍の内輪揉めや御家人・非御家人の奮闘があり蒙古襲来を撃退した。
恩賞の不十分・警戒態勢の維持が原因で蒙古襲来後の御家人は窮乏した。

Chapter２　鎌倉幕府の衰退

目標
得宗専制政治のしくみについて知ろう。
惣領制の解体が鎌倉幕府の衰退につながったのはなぜだろう？

1　得宗専制政治

①北条氏の強大化

全国の守護の半分以上を占め，各地の地頭職も手に入れた

北条氏本家の当主である［1　　　　］が，独裁を開始（＝**得宗専制政治**）。

※得宗の私邸で開かれる**寄合**が最高会議となり，得宗の家人である

［2　　　　　　］（筆頭＝**内管領**）と外様御家人の対立が激化。

②［3　　　　　　　　］**（1285年）**

○９代執権北条貞時・**内管領平頼綱** vs 外様御家人　**安達泰盛●**

③平禅門の乱（1293年）

○９代執権北条貞時 vs 内管領平頼綱〔平禅門〕●

2　御家人の窮乏と惣領制の解体

①中小御家人の窮乏

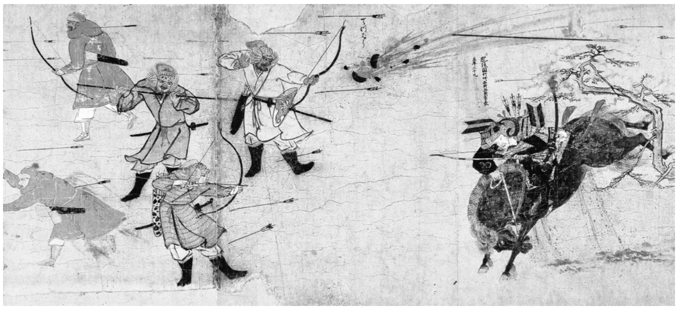
Ａ　原因

あ　蒙古襲来による多大な出費・犠牲にもかかわらず**恩賞が不十分**

い　蒙古襲来後の**警戒態勢維持**

う　分割相続の繰り返しによる所領の細分化

え　貨幣経済の進展による生活の向上と出費の増大



蒙古襲来絵巻

元寇防塁

B　窮乏化

あ　所領の売買・質入れが一般化

い　幕府に対する信頼感の動揺（= 御家人制の動揺）

う　得宗専制政治に対する不満が増大

C　対策

［4　　　　　　　　　　　　］**（1297 年，9 代執権北条貞時）**は，

御家人の救済を目的としたが，一時的効果のみに終わる。

あ　御家人の所領売買・質入れの禁止

い　**売却・質入れ済み所領の無償返還**

※御家人相手の場合 = 売却後 20 年以内のものに限定。

非御家人・凡下（庶民 = 借上）相手の場合 = 無期限。

う　越訴制度の廃止

え　金銀貸借訴訟の不受理

②惣領制の解体

A　分割相続から家督を継いだ嫡子の［5　　　　　　　　］へ

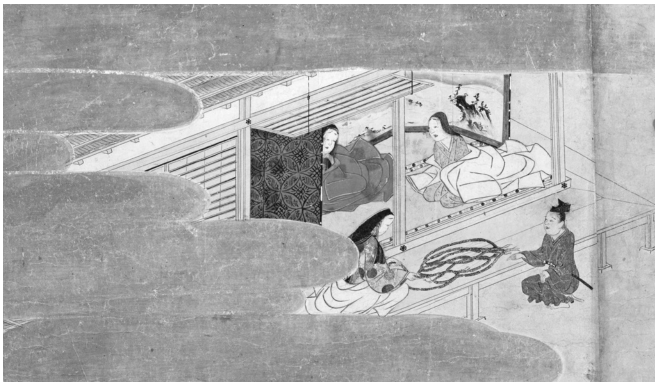
B　所領相続の「**一期分**」が一般化し**女性の地位は低下**

C　血縁的結合から利害関係によって結びつく地縁的結合に変化

D　［6　　　　］（畿内を中心とした自由な新興武士層）の発生

E　守護などの有力御家人の権力強化と中小御家人の没落

F　**北条氏の得宗専制政治に対する不満が増大**



借上

まとめ

北条氏本家の当主が，御内人と私的政治を行うことを得宗専制政治という。
惣領制は御家人制の基礎だったので，その解体は幕府を衰退させた。

第 7 講　PART 4　確認問題

1 モンゴル帝国 2 代皇帝オゴタイ＝ハンが滅ぼした王朝はどれか。

① 北宋　② 南宋
③ 金　④ 契丹

2 モンゴル帝国 5 代皇帝フビライ＝ハンが建国した元の首都はどこか。

① 大都　② 洛陽
③ 寧波　④ 長安

3 1274 年の 1 度目の蒙古襲来時の年号はどれか。

① 文永　② 文治
③ 弘安　④ 応安

4 1281 年の 2 度目の蒙古襲来時の年号はどれか。

① 永仁　② 文治
③ 弘安　④ 応安

5 御内人の代表の地位を何というか。

① 内管領　② 得宗
③ 頭人　④ 別当

6 1285 年の霜月騒動で外様御家人を滅ぼした御内人の代表はだれか。

① 三浦泰村　② 安達泰盛
③ 竹崎季長　④ 平頼綱

7 永仁の徳政令が出されたときの執権はだれか。

① 北条高時　② 北条時宗
③ 北条貞時　④ 北条時房

8 畿内を中心として発生した，自由な新興武士層を何というか。

① 得宗　② 悪党
③ 別当　④ 借上

第７講　PART４　確認問題 解答

1 解答：③　1234 年に中国北部の**金**を滅ぼしたモンゴル帝国２代皇帝オゴタイ＝ハンは，カラコルムに首都を設置した。

2 解答：①　モンゴル帝国５代皇帝フビライ＝ハンは，1271 年に中国の新たな王朝である**元**を建国した。

3 解答：①　１度目の蒙古襲来である**文永の役**では，元・高麗連合軍約３万が対馬・壱岐を攻め博多湾に上陸した。

4 解答：③　２度目の蒙古襲来である**弘安の役**では，元･高麗･南宋連合軍約 14 万（東路軍４万・江南軍 10 万）が襲来したが，上陸を阻まれている間に暴風雨による大損害を受けて撤退した。

5 解答：①　北条氏本家の当主を**得宗**といい，**御内人**は得宗の家人のことである。

6 解答：④　**霜月騒動**で，内管領の**平頼綱**は９代執権北条貞時のときに外様御家人の安達泰盛を滅ぼした。

7 解答：③　**北条貞時**は９代執権で，平禅門の乱で内管領平頼綱〔平禅門〕を滅ぼし，幕府の実権を握った。

8 解答：②　幕府に対する信頼感が揺らぐ中で，畿内を中心に**悪党**が発生した。